

安全・快適 24時間運航 桜島フェリー

地域に根差し 生活と安心を支える 海上交通機関



雄大な桜島のもと運航する桜島フェリー（桜島丸）

会社の姿勢

地域の振興、観光振興を図り、地域の安心、安全を支える

桜島フェリーは、鹿児島市の公営企業であり、市街地と桜島のみならず、薩摩・大隅半島を結ぶ海上交通機関として、1日130便、24時間運航を行っており、年間に466万人の方々にご利用し、130万台の車両を輸送しています。

また、桜島や錦江湾の魅力を楽しんでいただくクルーズ事業など観光振興にも取り組むとともに、桜島の火山活動によっては救難船舶としての役割を果たすことになっています。

このような重要な役割を担う桜島フェリーには、116名の船員が業務に従事し、その中で、現在、2名の女性船員が、男性船員と同じ勤務体系で業務を行っており、女性目線でのきめ細やかな心配りなどを活かしながら日々活躍しています。



出港前の短い時間の中で安全に車両誘導をおこなっています。

社内環境

働きやすい環境づくりを目指して！

桜島フェリーは、不規則な勤務シフトや深夜の勤務があることなどから、女性船員が少ない状況となっています。

このような状況を踏まえ、産前産後休暇や育児休暇などのほかに、妊娠中の職員への配慮や休暇の取得促進などを盛り込んだ「職員子育て支援行動計画」を策定し、男性も、女性も、子育てに関わっていない人も、子育てをみんなで支えあい助け合う職場環境の実現に取り組んでいます。

今後も、様々な声に耳を傾けながら、女性船員の雇用拡大を図り、男女ともに働きやすい職場となるよう努めてまいります。



平成6年に初の女性船員として採用され、今年永年勤続表彰を受けました。これからも安全を第一に仕事に励んでまいります。

取り組んでいる会社の概要

鹿児島市船舶局 桜島フェリー

代表者：南 勝之（企業管理者）

所在地：鹿児島県鹿児島市桜島横山町61-4

資本金：17億7,500万円

事業内容：一般旅客定期航路事業、旅客不定期航路事業

従業員数：164名

（令和元年6月時点）